

## エネルギー材料に関する講演会（２）

# 「エネルギー革新技术を生む材料科学」

産業技術総合研究所 エネルギー技術研究部門 本間 格先生

2050年までに温室効果ガス排出量を現状に比して半減するには既存技術の延長上に無いエネルギー技術のイノベーションが必要である。社会システムの低炭素化の最も有望なシナリオはエネルギー源を二酸化炭素が排出されない電気と水素に移行していくことであり、それらの有効利用が可能な太陽電池、風力発電、電気自動車や水素エネルギー技術の普及が経済産業政策の最重要課題となっている。すなわち安価で高効率な太陽電池、大容量・高出力な二次電池・キャパシタ、希少金属を用いない高効率燃料電池の開発が急務であるが、それらの実現のためには既存技術の延長上に無い新原理・新材料開発が必要である。近年進展しているナノテクノロジー、バイオテクノロジー、情報技術を総動員して革新的材料・デバイスを創成する材料科学を展望する。

日時： 9月10日（水） 18：30～20：00

場所： ずずかけホール 第1集会室（2F）

連絡先：細野秀雄（内 5359）